

志摩市は 「SDGs未来都市」 に選定されました！

SDGs(エス・ディ・ジーズ)とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年を期限とする持続可能な社会をつくるための国際的な取組目標です。

SDGsには、それぞれ密接につながった下記の17の目標があり、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるような社会を目指すために、世界中の人々にさまざまな行動を呼びかけています。



安倍内閣総理大臣らと記念撮影する竹内市長(中央)

「SDGs未来都市」は、SDGsの目標達成を通して持続可能な地域づくりに先導的に取り組む自治体を認定するものです。

SDGsが採択されてから初めての開催となった伊勢志摩サミットは、SDGsの達成を踏まえて首脳が話し合う意義深いサミットとなりました。志摩市は、伊勢志摩サミットのレガシーを活用し、SDGsの17の目標に関わる成果指標などを活用しながら、豊かな自然環境を保全し、御食国としての歴史を持つ持続可能な農林水産業や観光業の振興を進めていく自治体として、SDGs未来都市に選定されました。6月15日、首相官邸において選定証授与式が行われ、安倍内閣総理大臣から選定証が授与されました。

SDGsに関する詳しい情報や志摩市の取組の進め方については、今後広報しまなどで市民の皆さんにお伝えしていく予定です。